

關東上陸地支局

昭和二十年 二月十日

史實調查參考資料報告

摘要

所屬部隊	第三十八師團司令部	職	軍務部長	級	終戰時、 ノリ記ス
右所在地	宮古島				
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略ヲ	昭和三十二年七月二十七日勅令第三十八師團司令部 員令三十二年一月一日任命大佐昭和三十二年三月一日 二十師團司令部員令三十二年三月四日任命大佐昭和三 十七年八月一日關東防衛軍司令部員令昭和三十二年 八月十六日任命第三十八師團司令部員令昭和三十二年 九月一日任命				
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	所屬部隊ノ編成年月日不明 編制裝備ノ概要不明				
所屬部隊作 戰經過ノ概 要	宮古島防衛ヲ行フノ戰役				
終戰(又ハ主力 ノ戦ヲ終了) 後ノ概況	昭和三十二年二月三日宮古島空襲今年二月 十日浦城上陸艦隊平穩				
歸郷(又ハ連 絡)先	[Redacted]				
其他ノ参 考事項	十二				
備考	將校ニ部宛記載セシメテ復員者史實部ニ送付ス				



關東上陸地支局

昭和二十一年一月二十日

史實調查參考

科報告

摘要

神尾縣宮古島

職

參謀 陸軍中佐

所屬部隊

氏

終戰時、モ
リ記ス

支那事変
以降ニ於テ
自己ノ略下

昭和四年五月、歩兵第百十聯隊支隊隊長ト北支隊
、五年六月、右、聯隊副官
、六年八月、步兵第百十聯隊支隊長
、七年二月、任陸軍中佐
、八年三月、兵器行政部印刷部支隊長ト官格為附
、九年六月、任陸軍中佐

昭和十五年八月

編成

職身(甲)編制

所屬部隊
編成年月日
及編制表
備、概要

所屬部隊
作戰經過
概要

昭和十九年七月、滿洲ニ於テ南方支隊司令
、八月、沖繩縣宮古島ニ到着、同島防正
、十九年十月、台湾沖海空戦ニ協同
、二十年一月、沖繩島ノ戦ニ協同

最後、所屬
部隊、主三
上向、以前、
所屬部隊
合テ概況

終戦(又ハ三カ月)
後、概況

昭和二十年十月下旬、復員輸送開始(主トテ指揮下部隊)
、二十一年一月、要請ニテ、那珂及指揮官部隊ヲ
、指揮官、宮古島、那珂、下士官兵六十四名、
、沖繩、那珂、旅遣入、尚大東、北、新、十二月、
、二十一年一月、各、復員輸送ニ定リ、宮古島、一月、
、終戦時、於テ、軍紀風、總、維持、

帰還輸送
概況ヲ併
記ス

帰郷(又ハ遠
送)先

其他、参
考ノ事項

細部、師団トシテ、戦史資料、取纏、送附、
ニ據ル

備考

将校ニ就載セシムル一復員、入実部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和三十年 二月 十日

史実調査參考資料報告

摘要

所屬部隊	(個) 第二十八師團	職	參謀	官昇	中佐	終戰時ノモ ノヲ記ス	
右所在地	宮古島	氏名	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	職ノ変更及 至ルニ參加 戦斗名ヲ 記ス	
支那事変以 降ニ於テ自 己ノ略ヲ	參謀本部附、大本營幕僚部附、 關東軍司令部附、橫須賀重砲兵聯隊附、 關東軍情報部部員、 關東軍情報部支部長、 第二十八師團參謀						職ノ変更及 至ルニ參加 戦斗名ヲ 記ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	一 編成年月日不明 二 駐滿編制 騎兵及山砲、外ハ車輛編制 但馬匹馬具行李ヲ除ク						最後ノ所屬 部隊ヲ至 之尚、以前 ノ所屬部隊 ノ分ヲ之概 不
所屬部隊作 戰經過ノ概 要	宮古島防衛 天号作戰參加						最後ノ所屬 部隊ヲ至 之尚、以前 ノ所屬部隊 ノ分ヲ之概 不
終戰又ハ主力 戰斗終了ノ 後ノ概況	昭和三十年九月米第十軍ニ依リ終戰處理 同年 十月 月 米沖繩基地司令部ニ依リ 復員輸送 右ト併行シ一般ニ現地自治 帰還輸送ハ米船「カニ」号ニ依リ特記事項ナシ						帰還輸 送ノ概況ヲ 之併記ス
歸郷(又ハ連 絡)先	[Redacted]						[Redacted]
其他ノ參 考事項	[Redacted]						[Redacted]
備考	將校ニ部宛記載セシムル復員者史実部ニ送付ス						[Redacted]

關東上陸地支局 昭和二十一年二月十日

史実調査參考資料報告

所屬部隊	職	師團經理部長	摘要
右所在地	宮古島	[Redacted]	終戰時ノモ ノヲ記ス
支那華夏以 降ノ於ル自 己ノ略ヲ	陸軍本廠員、台灣軍研究部員 第三五軍參謀部附 第三三野戰貨物廠長(マレノ作戰參加) 第三十師團經理部長 第三十師團經理部長 第三十師團經理部長	[Redacted]	職ノ變更及 至ルニ參加 戰鬥名ヲ 記ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	編成年月不明	[Redacted]	最後ノ所屬 部隊ヲ至ニ 之尚、以前 ノ所屬部隊 ノ命令ニ概 ス
所屬部隊作 戰經過ノ概 要	宮古島防衛、天号作戰參加	[Redacted]	[Redacted]
終戰(又ハ主力 ノ戰鬥終了) 後ノ概況	二十一年二月三日宮古島發米船三ヨリ全月九日浦 賀ニ上陸	[Redacted]	帰還線 送ノ概況 ヲ併記ス
歸郷(又ハ連 絡)先	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其他ノ參 考事項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ部宛記載シテ才一復員有史実部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]

関東上陸地支局

昭和21年2月10日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊	昭和三十八師團司令部	職	副司令部附	官	中尉	終戦時、在 り記不
右所在地	<p>昭和三十八年一月、東部中隊が隊入隊 同年六月、満洲五北安兵舎に編入 昭和三十七年十月、陸軍省信託学校幹部候補生 昭和三十七年三月、師團司令部付 昭和三十七年三月、師團司令部付 昭和三十七年九月、中隊司令部付</p>					
所属部隊 / 編成年月日 / 及編制裝 / 備 / 概要	<p>編成年月日不明</p>					
所属部隊 / 戦經過 / 概要	<p>宮古島防衛 天手作戦参加</p>					
終戦(又、主力 / 戦斗終了) / 後 / 概況	<p>二十一年一月三十一日宮古島の降 米飯、今月九日珊瑚礁着</p>					
帰郷(又、連 / 絡)先	<p>帰還輸送、概況、 在備記不</p>					
其他、参 / 考事項	<p>将校三部宛記載セシメ、復員省史実部ニ送付</p>					

4

4

関東上陸地支局

昭和二十一年二月一日

史実調査参考資料報告

所属部隊		職	官等	摘要
石所在地	津浦線 官古島	氏名	[Redacted]	職ノ変更及 至ルニ参加 戦斗名ヲ 記ス
支那奉天以 降ニ於ケル自 己ノ略ヲ	昭和十七年十一月 少尉任官 特務隊中隊第一分隊 昭和十八年九月十日 中尉進級 昭和十九年二月十日 第三師團司令部 昭和十九年六月十日 第四師團司令部 昭和十九年八月十日 沖繩隊司令部 昭和二十年九月十日 大尉任官 昭和二十一年二月十日 官古島出陣 三月七日 津浦線着任			
所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	一 編成年月日 不明 二 裝備 一般歩兵師團ニシテ			最後ノ所属 部隊ヲ至ニ 示尚ソ以テ ノ所属部隊 ノ合リテ概 シ
所屬部隊作 戰經過ノ概 要	官古島攻衛			帰還後 送付状況ヲ 王備記ス
終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ概況	昭和二十一年二月三日 米船分一號(二日)			
帰郷(又ハ連 絡)先	[Redacted]			
其他ノ参 考事項				
備考	將校ニ部宛記載セシメ才一復員者史実部ニ送付ス			

關東上陸地支局

昭和二十一年二月

十日

史実調査參考資料報告

摘要

所屬部隊

國第二十八師團司令部職

司令部附

中尉

終戰時之
可記不

右所在地

沖繩縣宮古郡下里字錦原長名

[Redacted]

職、変更及
主に參加
戦才名に記
不

支那軍を以て降
す於て自ら自之
略す

昭和十八年十月三十日為二十八師團司令部勤務
十一月一日任陸軍少附歩三附二十八師團司令部勤務
昭和十九年五月二十七日北滿演習、外哈爾濱、去荒音、哈爾濱
六月二十二日南滿演習、宮古島防衛、共七月三日
青島演習、去荒音、七月十日宮古島防衛
昭和二十年三月二十六日為二十八師團司令部勤務
八月二十日任陸軍中隊

所屬部隊

第三十師團編成月日 昭和十五年八月十五日

編成年月日及
編制裝備
概要

前所屬部隊

歩兵第三聯隊編成月日 明治七年十二月九日

所屬部隊作
戦經過、概要

宮古島防衛
天号作戦參加

最後、所屬
部隊に在り
尚、以前、
所屬部隊、
分り不概記
又

終戦(又主力
戦半終了)
後、概況

至昭和二十一年二月三日 宮古島駐屯
今、年、今日、今、宮古島出港、米船三隻、歸還
二月九日浦城着、三月十日復員

帰還、輸
送、状況、
不併記、

帰郷(又連
絡)先

[Redacted]

其他、参考
事項

十、

備考

將校一部宛記載七、八、才一復員者史実部へ送付す

6

6

史実調査参考資料報告

摘要

所屬部隊	第三師團司令部	職	司令部附	級	中尉	終戦時ノモ ノヲ記ス
右所在地	宮古島	氏名	[Redacted]			

支那事変以
降ニ於ケル自
己ノ略ヲ

昭和十八年十一月一日 任少尉 歩一三三附
昭和十九年七月十一日 宮古島防衛、為青島哈爾濱
昭和十九年十月二日 第三八師團司令部ノ一隊屬
昭和二十年八月五日 任中尉

職ノ変更及
至ルニ参加
戦斗名ヲ
記ス

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

編成年月日不明

所屬部隊作
戦經過ノ概
要

宮古島防衛 天號作戰参加

最後ノ所屬
部隊ヲ至ニ
シ尚、以前
ノ所屬部隊
ノ合ヲモ概部
不

終戦(又ハ主力
ノ戦斗終了)
後ノ概況

昭和二十年一月三十一日 宮古島ヲ棄 米船ニテ
至年二月九日 浦突ニ上陸

帰還運輸
送、狀況ヲ
モ併記ス

歸郷(又ハ連
絡)先

[Redacted]

其他ノ参
考事項

無

備考

將校ニ部宛記載セシムルニ復員者史実部ニ送付ス

8

8

関東上陸地支局

昭和三十一年二月十日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊	姓名	職	軍階	軍歴	終戦時ノモリ
右所在地	沖繩県宮古島	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	ノリ記ス
支那軍変以 降ニ於テ自 己ノ略ヲ	歩兵第七九聯隊附トシテ此 派兵ニ加シ公防補給隊附トシテ 輸送ニ昭和十七年十月補給方 年三月迄昭南ホルネオス 年三月廿八日昭南ホルネオス 大崎南ヲ滿州國軍部口員 昭和三十九年六月二十六日 三十七号)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及 至ニ加 戦斗名ヲ 記ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	昭和十九年七月一日特設ノ駐屯地 至八月十二日宮古島着 終戦迄宮古島ノ警備	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	最後ノ所屬 部隊ヲ至ニ ノ所屬部隊 ノ概要記 ス
終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ概況	進駐後戦死傷者ノ環境上 之ニ甚ク死亡者出セルヲ 第一專念ス。為現地自活ニ協力シ 疾病ノ救済ニ力シ 帰還ノ官古島船便ニシテ米船 一万噸ノ輸送由リ待過年切 好ナリ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	帰還後 送ニ状況ヲ 記ス
歸郷(又ハ連 絡)先	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其他ノ参 考事項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ部宛記載セシメ 復員者史実部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

10

10

史実調査參考資料報告

摘要

所屬部隊		職		摘要	
右所在地	職	姓名	官階	終戰時ノモリ	ノモリ
支那事変以 序ニ於ケル自 己ノ略ヲ 昭和十八年十一月陸経平十日附園軍 昭和十九年四月 第二九野戦飛行場設置隊 同二年六月山宮古島ニ進展飛行場設置ニ従事 昭和二十年二月 右部隊現地復命 第三八師団司令 令ヲ附上セリ	第三八師団司令部 編成年月日 昭十五年八月十日 甲師団編制裝備	昭和二十一年九月二日同日令々ニ転展 第一二九野戦飛行場設置隊 特設飛行場設置隊 昭和十九年七月山宮古島ニ進展 宮古島中ノ飛行場設置 第一二九野戦飛行場設置隊 特設飛行場設置隊 昭和二十年九月二日同日令々ニ転展	昭和二十年一月十五日大在聖戦争終戦後 昭和二十一年二月大在博加上陸後之定結(一) 向山宮古島ニ在リ 帰還輸送ノ果能ニシテ實施セシメタリ	昭和二十年一月十五日大在聖戦争終戦後 昭和二十一年二月大在博加上陸後之定結(一) 向山宮古島ニ在リ 帰還輸送ノ果能ニシテ實施セシメタリ	昭和二十年一月十五日大在聖戦争終戦後 昭和二十一年二月大在博加上陸後之定結(一) 向山宮古島ニ在リ 帰還輸送ノ果能ニシテ實施セシメタリ

備考

將校ニ部宛記載セシメテ復員者史実部ニ送付ス

其他ノ参ノ考事項

歸郷(又ハ連絡)先

終戦(又ハ主力ノ戦ヲ終了)後ノ概況

所屬部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

新編部隊ノ戰經過ノ概要

職ノ変更及参加ノ略

終戰時ノモリノ記

最後ノ所屬部隊ヲ至ニ

歸還ノ送付

關東上陸地支局

昭和二十一年 一月十日

史実調査參考資料報告

摘要

所属部隊	(團) 第一師團司令部	職	管理部門員	官等	軍中階級	摘要
石所在地	宮古島	氏名	[REDACTED]			職ノ変更及至ル参加戰鬥名ヲ記ス
支那華軍以降ニ於ケル自巳ノ略テ	昭和二十一年一月至三月見習士官トシテ第一師團司令部付ト成リ以降、海軍作戦通過機要ニ記セシテ御同部隊在留中					
所属部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	第一師團司令部編成月日、昭和二十一年八月十二日、 甲師團編成中					
所属部隊ノ概	右部隊 昭和二十一年八月、海軍作戦通過機要ニ記セシテ御同部隊在留中 昭和二十一年七月、第一師團司令部付ト成リ 昭和二十一年六月、第一師團司令部付ト成リ 昭和二十一年八月、第一師團司令部付ト成リ					最後ノ所属部隊ヲ至ニノ向、以前ノ所属部隊ノ分ヲ概記ス
終戦ノ主力ノ戰鬥終了ノ後ノ概況	右部隊 昭和二十一年一月、大東亞戦争終戦ニ付、第一師團司令部付ト成リ、宮古島ニ在リ、歸郷(又ノ連絡)先					帰還輸送ノ状況ヲ詳記ス
其他ノ参考事項	[REDACTED]					
備考	本報第二部宛記載セシムル一復員者史実部ニ送付ス					

關東上陸地支局 昭和二十一年一月九日

史實調查參考資料報告

摘要

所屬部隊	右所在地	職	摘要
支那軍變以 降了於今自 已略了	昭和三十七年一月十日 昭和三十七年四月 昭和三十七年八月 昭和三十七年十一月 昭和三十八年三月 昭和三十八年八月 昭和三十八年十一月 昭和三十九年三月 昭和三十九年八月 昭和三十九年十一月	東部第十七師團 滿洲軍第六二四師團 滿洲軍第七九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團 滿洲軍第九師團	職/變更及 戰鬥名 記不
所屬部隊/ 編成年月日 及編制裝 備/概要	所屬部隊編成年月日 第三十八師團編成日		最後所屬 部隊/至二 三尚以前 所屬部隊 分/無概記
所屬部隊作 戰經過/概 要	滿洲軍 自昭和三十七年十一月 至昭和三十九年三月 自昭和三十九年三月 至昭和三十九年八月 自昭和三十九年八月 至昭和三十九年十一月	滿洲軍 滿洲軍 滿洲軍 滿洲軍 滿洲軍 滿洲軍	
終戰(又八主力 /戰鬥終了) 後/概況	終戰後/概況 一、現地自強/強化 二、復員時及後之 三、民衆生活 昭和三十七年十一月 昭和三十七年三月 昭和三十七年八月 昭和三十七年十一月	將兵勢力之增進 準備 未仍之東部 昭和三十七年十一月 昭和三十七年三月 昭和三十七年八月 昭和三十七年十一月	歸還運輸 送/狀況 無併記不
歸郷(又八連 絡)先	[Redacted]	[Redacted]	
其他/參 考事項	+	-	
備考	將校三部宛記載也 才一復員有 史實部二送付不		

関東上陸地支局

昭和二十一年

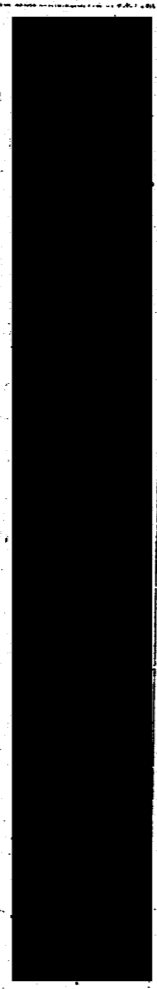
二月九日

史実調査参考資料報告

摘要

所屬部隊	右所在地	職	官年級	終戦時ノノリ記ス	摘
所屬部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那那事変以降ニ於ケル自巳ノ略	陸軍中將 菅野 政太郎	陸軍中將 菅野 政太郎	職ノ変更及至ルニ至ル加戦斗名ヲ記ス	最後ノ所屬部隊ヲ至ニ之尚、以前ノ所屬部隊ノノリ記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要		陸軍中將 菅野 政太郎	陸軍中將 菅野 政太郎	職ノ変更及至ルニ至ル加戦斗名ヲ記ス	最後ノ所屬部隊ヲ至ニ之尚、以前ノ所屬部隊ノノリ記ス
終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)後ノ概況		陸軍中將 菅野 政太郎	陸軍中將 菅野 政太郎	職ノ変更及至ルニ至ル加戦斗名ヲ記ス	最後ノ所屬部隊ヲ至ニ之尚、以前ノ所屬部隊ノノリ記ス
歸郷(又ハ連絡)先		陸軍中將 菅野 政太郎	陸軍中將 菅野 政太郎	職ノ変更及至ルニ至ル加戦斗名ヲ記ス	最後ノ所屬部隊ヲ至ニ之尚、以前ノ所屬部隊ノノリ記ス
其他ノ参考事項		陸軍中將 菅野 政太郎	陸軍中將 菅野 政太郎	職ノ変更及至ルニ至ル加戦斗名ヲ記ス	最後ノ所屬部隊ヲ至ニ之尚、以前ノ所屬部隊ノノリ記ス
備考		陸軍中將 菅野 政太郎	陸軍中將 菅野 政太郎	職ノ変更及至ルニ至ル加戦斗名ヲ記ス	最後ノ所屬部隊ヲ至ニ之尚、以前ノ所屬部隊ノノリ記ス

M



終戦後菅野中將は、自らの戦歴を記した『菅野政太郎の戦歴』を著し、戦後二十一年一月三十一日、東京で出版された。

菅野中將は、戦中、支那に在りて、陸軍中將として、戦後、自らの戦歴を記した『菅野政太郎の戦歴』を著し、戦後二十一年一月三十一日、東京で出版された。

將校ニ部宛記載セシメ才一復員者史実部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名稱)

豐五六二部隊
(二十八師團司令部)

職官

二十八師團司令部附
陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十六年一月十日 現役兵ニ充テ滿洲第六五部隊ニ入隊
昭和十六年十月 前橋陸軍豫備士官學校ニ入校
昭和十七年十月 少尉任官
昭和十九年九月十五日 中尉任官
昭和二十年七月五日 大東島上陸
昭和二十年十月 中尉一等級
宮古島上陸 天一号部隊ニ充テ

職ノ變更及主ナル
參加戰團名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

東園長陸軍中將朝見敏郎
部隊名 第二十八師團 3036 (大東島存在名 36 指揮ヲ脱ス)
騎部隊 (獨立混成隊)
陸海軍 獨立部隊 (海軍整備隊) 其他獨立大隊
指揮官 石垣島 齋藤 (獨立混成隊)

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
ノ分ヲモ概記ス

所屬部隊作戰經
過ノ概要

昭和二十年八月十四日 宮古島上陸 (豊部隊 梅) 十月十日 初室嶽以前ノ所屬部隊
東園長陸軍中將朝見敏郎 陸軍飛行場完成
天一号部隊 戦州 梅 春 北
終戦 後 現地自治 復興

ノ分ヲモ概記ス

終戦 (又ハ主力
ノ戰團終了)
後ノ概況

宮古島

歸還輸送ノ狀況
ヲモ併記ス

先
歸郷 (又ハ連絡)

極度ノ食糧不足ヲ予想シ全員現地自治 (村落)
ニ努力シ食糧制限ヲ加テ 復興直前ニ村落ニ
豊島ノナリ
軍機シ凡シニ復興直前ニ至テ 救正保持セラル
東園長陸軍中將朝見敏郎

其ノ他ノ參考事
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

15

15